

『校内での様々な「研修」の取り組みについて』

ボストン日本語学校 教務部

ボストン日本語学校では、教員自身のスキルアップと子どもたちの充実した教育環境の整備をさらに進めるために、様々な研修を行っています。

1. 「初任者研修」

新しく入った先生には、「初任者研修」を行います。入ってから1年間に2回の公開授業を行い、その都度、運営委員からの評価を受けます。また管理職からも適宜指導を受けながら、授業の基本や考え方を学び、技術を習得していきます。

2. 「授業研修」

教員全員による「授業研修」を行っています。各部（幼稚部・小学校低学年部・小学校中学年部・小学校高学年部・中学高校部・日本語部）の先生が1名ずつ代表で授業を行い、相互に参観をします。授業者は、管理職と学習指導案の検討を行い、よりよい授業を計画・実践します。また授業後は参観者全員で授業についての協議をし、授業者・参観者の双方が授業方法についてだけでなく、授業に対する見方や考え方についても深めていきます。

本年度の研修目標は「子どもの学習意欲の向上」で、公開授業を行う授業者だけでなく、各部・各学級の先生たちが、それぞれのアプローチでこの目標を達成するための手立てを考えながら、授業を行っています。

3. 職員会議後の「ミニ研修」

文科省派遣教員の設定したテーマに基づき、職員会議後に勉強会を行っています。テーマはその日によって異なりますが、できるだけ現場での実践に役に立つ情報の共有と意見の交流を目的とし、全員が参加して研修に努めています。

またこの時間以外にも、先生たちは放課後やアーリントン事務所内でも様々な情報を共有・交換しながら、日々、子どもたちの力をどのようにして高めていけるか、どのようにして教員としての力量を高めていけるか、真剣に考えながら、職務にあたっています。

